

県高校総体兼関東大会県予選

女子団体ベスト8（2チーム）、女子個人優勝

5月12日、13日の両日、小瀬武道館で県高校総合体育大会兼関東大会県予選が行われました。昨年度はコロナ禍の影響で、大会が開催されず、卒業した先輩たちとともに悔しい思いをしましたが、今年は多くの方々のご配慮の元、例年とは異なる試合方式ではありましたが、開催していただけたことに、感謝しています。

1日目は、男子1チーム、女子2チームが出場し、全チームがベスト16による3回戦に進みました。

2日目は、男子が残念ながらベスト8に残れず3回戦敗退となってしまいましたが、女子はA、B両チームがベスト8の決勝トーナメントに進出しました。Aチームの1回戦は優勝した甲府商業に敗れ、Bチームは第1シードの巨摩高校に競射の末敗れ、ともに関東大会の出場権を逃してしまいましたが、学校対抗得点1点を獲得することができました。

個人戦では、女子2名が8射7中で3回戦に進出しました。3回戦では12射11中を出した1名が射詰競射の末優勝することができました。もう1名も10中で3位決定競射に臨みましたが、惜しくも入賞はなりませんでした。この2名は、8月の関東個人選抜県予選の決勝出場権を獲得しました。

今回の大会は、十分な力を発揮できず悔しい思いをしましたが、1か月後のインターハイ県予選に向け、気持ちを切り替えて挑みたいと思います。



インターハイ県予選兼室井旗争奪弓道大会

女子団体優勝（インターハイ出場権獲得）

6月19日、20日の両日、小瀬武道館でインターハイ県予選兼室井旗争奪弓道大会が行われました。県内でも新型コロナウイルスの感染が広がる中でしたが、2年ぶりに開催していただけたことに感謝いたします。

1日目は、女子団体1チーム、女子個人2名、男子個人1名が出場しました。女子団体は1回戦では力が出しきれず後が無い状態でしたが、2回戦でなんとか挽回し、全体の5位で、2日目のベスト8による3回戦に進みました。個人では、女子2名が2日目に進むことができました。

2日目は、3回戦を終え全体の3位で、ベスト4による決勝リーグに進出することができました。決勝リーグでは、思うように的中が伸ばせない中でもよくねばり、3勝0敗で優勝することができました。この結果、7月末に新潟県上越市で開催される、インターハイの出場権を獲得することができました。

個人戦では、2日目に進出した2名のうち1名が10位に入りました。惜しくも入賞はなりませんでしたが、8月の関東個人選抜県予選の決勝出場権を獲得しました。

今回の大会は、学園祭の時期と重なり、練習量も決して十分とは言えない状況の中、選手たちはよく頑張りました。ただ、優勝はできたものの、内容的には反省の多い試合となってしまいました。一緒に切磋琢磨してきた他校の分まで、本大会では少しでも良い弓が引けるよう、残りの日々を頑張りたいと思います。



3年生引退射会・卒部式

6月26日に3年生の引退射会および卒部式を行いました。

コロナ禍の中、これまでの全ての大会において選手以外が大会会場に入ることができず、また保護者の観戦もできない状態が続いていました。これにより、例年はインターハイ県予選の終了時に行っていた卒部式もできないままになっていました。このため3年生に活動の区切りをつけてもらうと同時に、保護者の方にも生徒が弓を引いている姿を見ていただくということで引退射会・卒部式を行いました。

まず2,3年生全員で、12射を行射しました。3年生は8射を立射、最後の4射を坐射で行いました。その後、卒部式を行いました。顧問から一人一人に「卒部証書」が渡され後、顧問の挨拶、3年生からの挨拶と続きました。最後に全員で記念写真を撮影して、3年間の活動に区切りをつけました。

今後3年生の一部は、インターハイ、国体、関東個人選抜県予選に向けもうしばらく頑張る生徒もいますが、多くはここから受験勉強一色となります。これまでの活動を通して、人間的にも大きく成長してくれましたので、その自信を胸に、これからの受験勉強にも、全力で取り組んでいてもらいたいと思います。



インターハイ出場記念タオル贈呈式

7月19日の放課後に、むろい株式会社様よりインターハイ出場記念のマフラータオルを寄贈していただきました。インターハイの県予選は「室井旗争奪弓道大会」を兼ねており、今年で63回大会になります。先々代の社長さんが弓道をしておられた関係から、長年にわたり高校弓道を応援してくださっています。

室井旗（優勝旗）の他、入賞チームへの楯や、入賞選手全員に副賞のソックスも毎年寄贈してくださっていることに加え、たくさんのマフラータオルまで寄贈していただき、部員一同感謝の気持ちでいっぱいです。

いただいたタオルは、上越市で行われるインターハイにも持参し、大切に使用させていただきます。このように多くの方々の支えがあることに感謝しつつ、インターハイ本戦でも頑張りたいと思います。



インターハイ出場

女子団体決勝トーナメント進出

7月27日～8月1日まで、新潟県上越市で行われたインターハイに、女子団体の部で出場してきました。コロナ禍の中、新潟県の先生方が感染防止を第一に考えてくださり、例年と大きく異なる運営でしたが、おかげさまで無事大会を行うことができました。

試合では、予選を突破して決勝トーナメントに進出することができました。決勝トーナメント1回戦では、予選2位通過の学校とあたってしまい、惜しくも敗退してしまいました。

今年は3年生中心のチームでしたが、2年連続で出場するはずだった東日本大会が中止となったため、インターハイが初の大舞台となりました。3年間の最後に大舞台に立てたことは幸せでした。また、1名参加した2年生にとっては、今後につながる良い経験となりました。

すばらしい舞台で心に残る経験ができたことを、運営にあられた新潟県の先生方、生徒の皆さんに感謝申し上げますとともに、出場に際して応援して下さった多くの皆様に感謝申し上げます。



関東個人選手権選抜大会

女子 3 名出場、1 名準決勝進出

9月11日、12日に、東京都明治神宮の至誠館中央道場で、関東個人選手権選抜大会が行われました。本校からは女子で3年生2名、2年生1名の計3名が出場しました。

コロナ禍で緊急事態宣言中の東京都ということで、例年とは全く異なる試合形式で行われました。これまで行われていた本会場での公式練習や練習会場練習も、監督会議や開会式も行わず、1日目からぶっつけ本番の予選となりました。しかも、県ごとに試合1時間前に会場に入場し、試合が終了したらすぐに退場することで、他県との接触を極力無くす運営がなされました。また、観客席も無観客で行われ、会場に入れるのは監督のみで、引率教員でさえ入場できない厳戒態勢でした。

1日目の予選は4射3中以上が通過でしたが、女子は108名中27名しか通過できませんでした。本校は3年生1名が3中で予選を突破し、2日目の準決勝に進出しました。しかし、コロナ禍ということもあり、宿泊はせず、日帰りで行うことにしました。2日目の準決勝では、早朝からの移動の疲れもあってか実力を出せずに敗退してしまいました。

コロナ禍の影響で大会の開催自体が（昨年度に続き）不可能かと思われましたが、東京都の先生方・生徒の皆さんの、感染対策に対する工夫とご努力のおかげで、無事開催できたことに感謝いたします。今年は本国体も中止となってしまったため、多くの3年生にとってこの大会が高校生活最後の試合になりました。それをあこがれの中央道場で行えたことは良い思い出となりました。大会開催に対する感謝の気持ちを忘れずに、残された高校生活を頑張ってもらいたいと思います。



県新人大会

女子団体優勝

10月23日、24日の2日間、小瀬武道館で県新人大会が行われました。

感染症対策として、1日目の予選1、2回戦は2ブロックに分けて時間差の試合でした。男子はオール1年生のチームで初の県大会ということで、ベスト16に残ることができませんでした。女子はA,B両チームが4位タイで2日目の3回戦に進出しました。

2日目の3回戦で、Bチームは競射の末敗退してしまいましたが、Aチームは2位の成績でベスト8による決勝リーグに進出しました。

決勝リーグ（Bパート）を全勝で優勝し、Aパート優勝のチームとの優勝決定戦に臨みました。優勝決定戦では緊張感の中全員が力を出し切り優勝することができました。

この結果、12月に茨城県で行われる全国選抜大会の代表権を獲得することができました。調べた結果、女子団体の新人戦優勝は49年ぶり2度目で、全国選抜大会出場は初出場であることがわかりました。本大会では気負わずに、自分達らしい弓を引いてきたいと思います。



焼津遠征

12月19日に、静岡県焼津市の焼津中央高校で行われた練習試合に参加してきました。コロナ禍が少し落ち着いて来てくれたので、2年ぶりに県外遠征ができるようになりました。ただ、まだまだ予断を許さない状況ですので、今回は甲府工業高校を加えた3校のみで行われました。

参加した1,2年生にとっては初の県外遠征で、多くのことを学ぶことができました。また、Google スプレッドシートを使って、リアルタイムに試合の成績処理がなされるなど、先進の試合運営も非常に勉強になりました。

年末のお忙しい中、練習試合を開催してくださり、スムーズな運営をしてくださった焼津中央高校の皆さんに心より感謝いたします。



全国選抜弓道大会

女子団体初出場

12月21日～12月25日まで、茨城県水戸市で行われた全国選抜弓道大会に、女子団体の部で出場してきました。コロナ禍も少し落ち着きを見せた中でしたが、全員に携帯用アルコールを持参させるなど感染症対策に気を遣いながら行ってきました。

全国選抜大会は、今年で40回の記念大会となりますが、一高の女子団体は初出場でした。試合では、残念ながらあと1本というところで決勝トーナメント進出はなりませんでしたが、大会直前からチーム全体で調子が上がらない中、茨城県の皆様のご配慮で、大会会場から車で10分ほどの練習会場も用意して下さったおかげで、何とかあと一歩という所まで調整できたことに感謝いたします。

参加した2年生にとっても、今後につながる大きな経験となりました。本会場と練習会場という2会場を用意して下さり運営にあたられた、茨城県の先生方、生徒の皆さんに感謝申し上げます。



初めて経験する大きなアリーナ会場



会場近くの借楽園

年末年始の行事

年末から年始にかけて、部内の恒例行事が行われました。

◎納射会（百射会）

12月26、27日には、納射会を行いました。26日に各自72射を行い、27日に残りの28射を行い、計100射で順位を争うとともに、上位3名により今年の締めくくりの納射をおこないました。

今年の百射会は、1位、3位が2年生女子、2位が1年生男子という結果となりました。1年生も着実に成長してきました。納射では、優勝者が射手、2位が第1介添え、3位が第2介添えを務めました。

今年は、少しずつ県外大会や、県外遠征もできる状態になってきましたが、まだまだ多くの活動に制約がある厳しい状況が続いています。来年は、コロナ禍が収束し、明るい話題が多い年になることを祈りつつ納射会を終えました。納射会終了後は、みんなで道場の大掃除を行い、年末年始の休みに入りました。



◎初射会

1月5日に初射会を行いました。まず、1年間の無事を祈って、2年生の代表による矢渡しを行いました。その後初稽古として、全員が12射の行射を行いました。行射後は、今年1年の運試しとして直径約10cmの金的に向かいました。

例年終了後は、自分たちで作った豚汁で体を温めるのが恒例となっていたのですが、コロナ禍ということで、昨年同様、缶入りのおしるこで乾杯して新年を祝いました。今年1年良い年になるようお願いを込めて初射会を終えました。



東日本大会出場

女子団体 5人制ベスト8・射道優秀賞受賞

3月19日~21日まで、山梨県甲府市小瀬スポーツ公園武道館で東日本高等学校弓道大会が行われ、女子団体の部に出場しました。コロナ禍のため、昨年度（北海道）、一昨年度（岩手県）と2年連続で大会が中止となり、この春卒業した3年生は代表権を獲得していながら出場できませんでしたが、今年度は山梨県の先生方のご尽力により、何とか開催することができました。

この大会は北海道・東北・関東の代表校男女各44校が参加し、5人制と3人制のそれぞれで試合が行われます。44チーム中ベスト16が決勝トーナメントに進出しますが、これはインターハイ（48チーム中32チーム通過）より厳しい設定です。

結果は、3人制の部は残念ながら予選敗退となってしまいましたが、5人制の部で決勝トーナメントに進出し、ベスト8に入ることができました。また、5人制の部で射道優秀賞を受賞することができました。山梨県勢は、甲府工業が男子5人制で優勝、甲府商業が女子5人制・3人制ともに3位入賞と素晴らしい結果でした。

コロナ禍の厳しい状況に加え、直前に発生した東北地方の大地震の影響で、大会開催自体が危ぶまれましたが、県内の先生方・補助員の皆さんのおかげで何とか無事に終了できました。県外の先生方からも、「大会を開催してもらっただけでも感謝しています」というお声かけをいただきました。来年度は多くの大会が無事開催できることを願っています。

